

第1章 計画の趣旨

1) 計画の目的

近年、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会を見直し、物質循環を確保して、天然資源の保全や環境負荷を低減する「循環型社会」の実現が求められており、国においても平成12年の「循環型社会形成推進基本法」制定と前後して、リサイクル推進に係る関係法令等が制定され、その後、これらの法制度が適正に運用されるよう、適宜、法改正が進められています。

「循環型社会」の実現は、地球温暖化防止の観点からも重要であり、温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素等の7種類）の長期的・継続的な排出量の削減を目的として、COP3（気候変動枠組条約第3回締約国会議）において採択された京都議定書が、平成17年2月に発効され、それ以降幾度となく気候変動枠組条約締約国会議が開催され、世界規模での協議が引き続き行われています。今後、地球温暖化問題への対処が必要とされる中で、廃棄物の焼却に伴って発生する二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量削減も求められており、家庭、事業所を問わず一般廃棄物（産業廃棄物以外の「ごみ」及び「生活排水」）についても、排出抑制・再使用・再生利用の推進が求められています。

また、生活排水については、下水道の普及による処理の推進が図られていますが、一部においては、今後も継続したし尿処理を進めていく必要があります。

このような背景のもと、一般廃棄物の循環型処理を目標として、乙訓環境衛生組合（以下「組合」とします。）におけるごみの排出抑制、再生利用、減量化、適正処理及び生活排水処理の推進を図るために、向日市、長岡京市、大山崎町（以下「関係市町」とします。）及び周辺自治体の状況や上位計画との整合性を配慮しつつ、この一般廃棄物処理基本計画に沿って今後の事業を推進していくものとします。

2) 計画の性格

乙訓環境衛生組合一般廃棄物処理基本計画（以下「基本計画」とします。）は、関係市町が定めている総合計画及び環境基本計画並びに一般廃棄物処理基本計画を基に、廃棄物行政における目標と計画を定め、その具体的な方針を示すものです。

なお、基本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号、以下「廃棄物処理法」とします。）」に基づく一般廃棄物処理計画のうち、長期的（10～15年）視点に立った一般廃棄物処理の基本方針となるものであり、基本計画に基づき各年度ごとに、一般廃棄物の排出の抑制、減量化・再生利用の推進、収集、運搬、処分等について定める計画（一般廃棄物処理実施計画）を策定します。

基本計画の策定においては、「廃棄物処理法」のほか、「環境基本法（平成5年法律第91号）」、「循環型社会形成推進基本法（平成12年法律第110号）」、「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号、以下「資源有効利用促進法」とします。）」等各種法律及び「乙訓環境衛生組合廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」並びに関係市町の関連条例を遵守するものとします。

また、ごみの排出抑制及び収集運搬、し尿の収集運搬等については、関係市町の施策によるものとし、基本計画では、組合の責務である適正処理、処分について組合の施策を示すものとします。なお、ごみ及びし尿の処理・処分に関する施設整備方針に関しては、基本計画に基づく「一般廃棄物処理施設整備基本構想」を平成19年3月に策定しております。

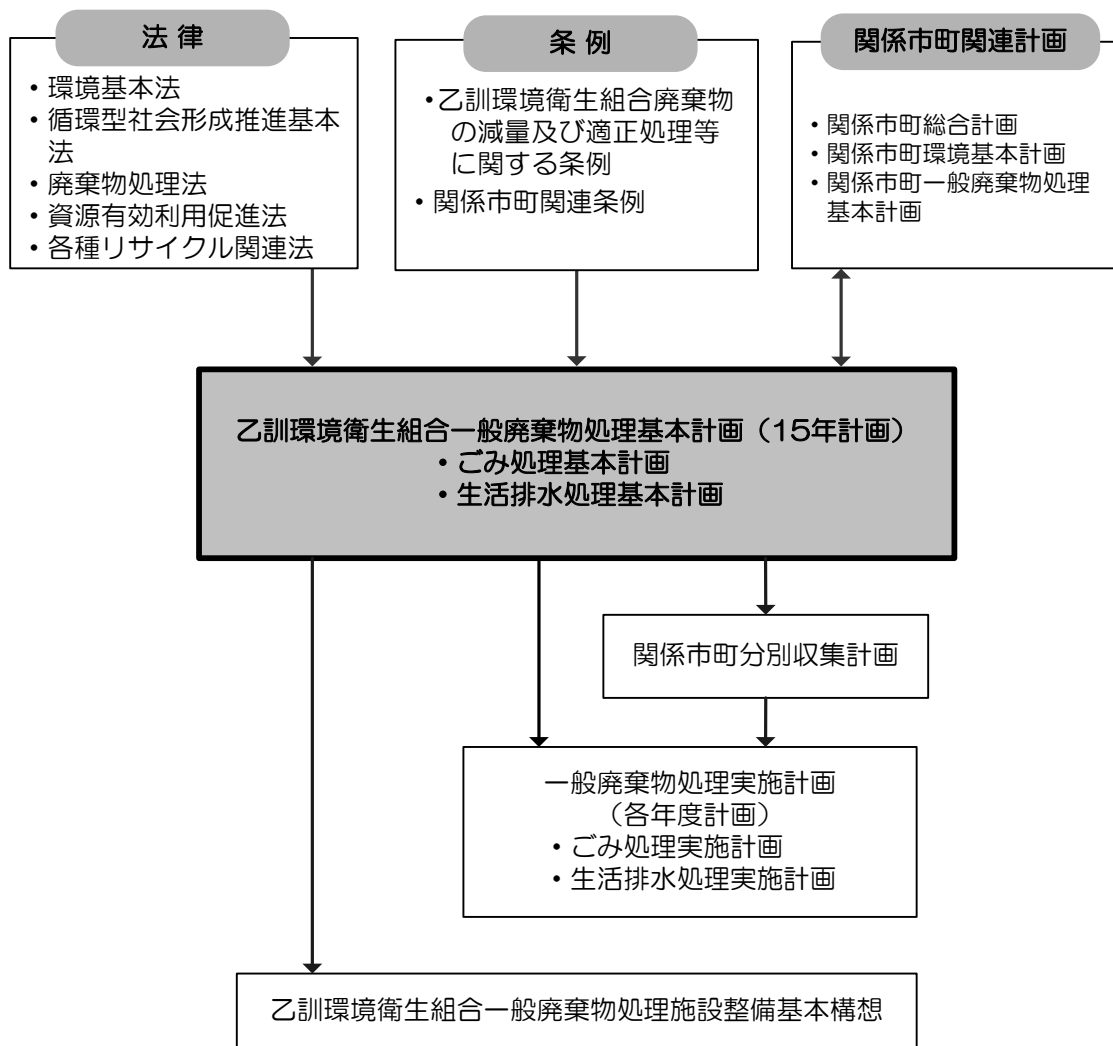


図1-1-1 計画の性格

3) 見直しの内容

ごみ処理基本計画策定指針では、基本計画は概ね5年ごとに改定することが適切であるとされており、組合の基本計画は平成19年3月の策定から本年で10年目を迎えたところであります。

今回、組合の基本計画の進捗状況を確認するとともに、見直しを行うこととします。

また、組合の責務である廃棄物の適正処理、施設の安定した運転管理を継続保持するため、中長期的な補修・施設整備計画等の策定が必要となることから、一般廃棄物の発生量及び処理量については、平成43年度までの推計値を記載することとします。

4) 計画の期間

今回の見直しに係る計画期間は、平成27年度を基準年度として、平成29年度から平成33年度の5か年とします。

また、廃棄物の適正処理等を見据えた中長期の補修・施設整備計画等についての最終年度は平成43年度とします。

5) 計画の範囲

関係市町の行政区域全域とし、区域内から排出される一般廃棄物を対象とします。

● ● ● ● ● 第2章 地域の概要 ● ● ● ● ●

1) 地域の概要

(1) 位置

組合は、京都府の南西部に位置しており、関係市町の総面積は 32.86 km²です。



表 1-2-1 面積 (平成 27 年 4 月)

(単位: km²)

	面積
向日市	7.72
長岡京市	19.17
大山崎町	5.97
計	32.86

図 1-2-1 位置図

(2) 沿 革

組合及び関係市町の沿革は、以下に示すとおり向日市、長岡京市は昭和 47 年に市制、大山崎町は昭和 42 年に町制が施行され、現在に至っています。

表 1-2-2 組合及び関係市町の沿革

	年 月	沿 革
組 合	昭和39年 6月	乙訓環境衛生組合設立
向 日 市	明治22年 4月	市町村制施行により向日町誕生
	昭和47年10月	市制施行
長岡京市	昭和24年10月	新神足・海印寺・乙訓の3村が合併し、長岡町となる
	昭和47年10月	市制施行
大山崎町	明治22年	大山崎荘・円明寺村・下植野村が合併し大山崎村となる
	昭和42年11月	町制施行

2) 自然条件

(1) 地 形

向日市から長岡京市を経て大山崎町にいたる地区東部は、南北に比較的平坦な可住地が広がっています。西部山地は西山連峰を境に大阪府に接しており、西高東低の地形となっています。

(2) 水 系

中央を小畑川、西部を小泉川が縦断し、大山崎町の南で淀川水系の桂川に合流しています。桂川は宇治川・木津川と合流して淀川となり、高槻市・枚方市・寝屋川市などを経て大阪平野を西南に流下し、大阪湾に注いでいます。

(3) 気 象

気候はおおむね温和で、過ごしやすくなっています。平成 26 年の年間気象は、平均気温が 16.9℃、最高 40.9℃、最低-1.7℃、年間降雨量は 1,186.0 mm でした。

表 1-2-3 気温と降雨量 [平成 22 年～平成 26 年]

	単位	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
平均気温	℃	16.5	16.1	15.8	16.3	16.9
最高気温	℃	38.1	37.8	37.9	39.0	40.9
最低気温	℃	-2.3	-3.6	-3.4	-2.5	-1.7
年間降雨量	mm	1,669.0	1,492.0	1,401.5	1,361.5	1,186.0

資料:「乙訓の統計」(平成27年版)
観測地点 乙訓消防組合消防本部

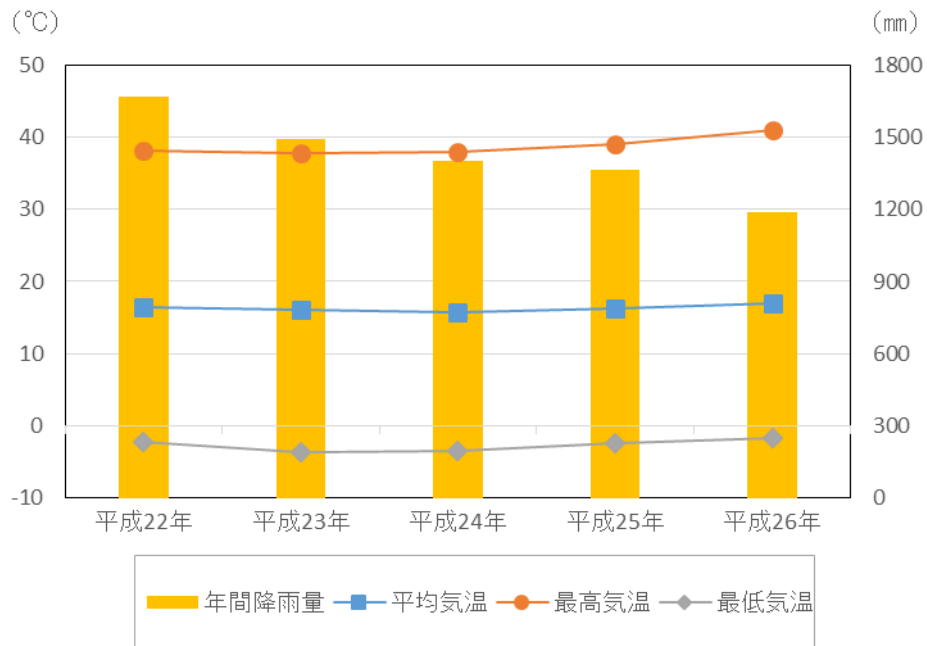


図 1-2-2 気温と降雨量 [平成 22 年～平成 26 年]

3) 社会条件

(1) 人口

近年 10 年間 (平成 19 年から平成 28 年) の人口 (住民基本台帳 (外国人登録人口含む)) は、向日市、長岡京市、大山崎町ともほぼ横ばいで推移しています。

表 1-2-4 人口の推移

	各年10月1日現在 (単位: 人)									
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
向日市	55,423	55,205	55,208	55,054	54,746	54,435	54,298	54,297	54,513	55,563
長岡京市	78,825	79,324	79,704	79,967	79,873	79,899	80,283	80,224	80,658	80,781
大山崎町	15,472	15,552	15,614	15,524	15,407	15,432	15,418	15,431	15,527	15,701
計	149,720	150,081	150,526	150,545	150,026	149,766	149,999	149,952	150,698	152,045

資料:住民基本台帳(外国人登録人口含む)

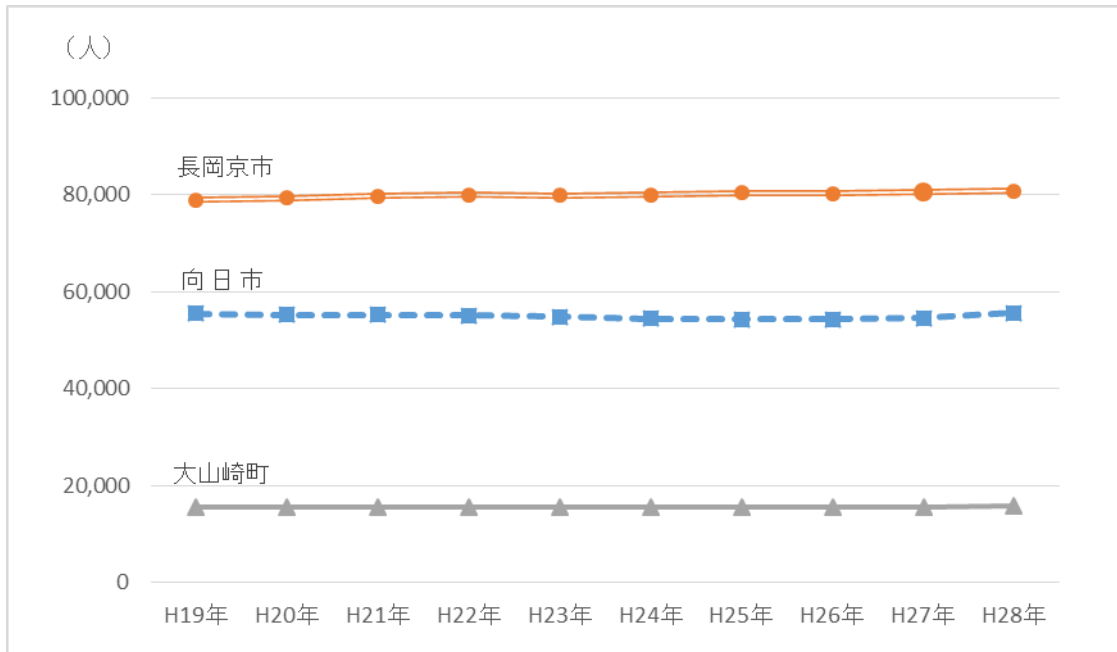


図 1-2-3 人口の推移

(2) 産業の動向

平成 26 年の産業(大分類)構造をみると、事業所数では、卸売・小売業(20.5%)とサービス業(31.5%)で全体の約 5 割を占め、次いで不動産業(10.9%)の順となっています。従業者数では、サービス業(23.8%)が最も多く、次いで製造業(23.3%)、医療・福祉(16.2%)の順となっています。

表 1-2-5 産業(大分類)別事業所数及び従業者数

		総数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	公務	
向日市	平成24年	事業所数	1,798	2	0	172	146	0	52	399	17	214	567	90	139	0
		従業者数	14,377	12	0	858	2,044	0	1,248	3,744	165	523	3,387	563	1,833	0
	平成26年	事業所数	1,886	2	0	176	141	4	46	405	15	212	585	108	178	14
		従業者数	15,559	6	0	738	2,268	38	883	3,243	227	530	3,489	1,037	2,552	548
長岡京市	平成24年	事業所数	2,689	0	0	225	193	2	71	559	31	294	887	146	281	0
		従業者数	29,582	0	0	1,168	9,001	103	1,761	4,285	540	872	5,728	1,111	5,013	0
	平成26年	事業所数	2,762	1	0	222	185	6	75	536	35	290	882	182	335	13
		従業者数	32,613	8	0	1,087	7,508	113	1,693	4,237	439	831	8,362	1,902	5,839	594
大山崎町	平成24年	事業所数	400	0	0	43	30	2	16	93	4	50	115	18	29	0
		従業者数	6,137	0	0	271	3,248	13	840	555	17	110	722	77	284	0
	平成26年	事業所数	416	0	0	42	32	2	18	97	4	48	126	17	30	0
		従業者数	5,392	0	0	197	2,698	23	589	572	13	83	872	70	275	0
計	平成24年	事業所数	4,887	2	0	440	369	4	139	1,051	52	558	1,569	254	449	0
		従業者数	50,096	12	0	2,297	14,293	116	3,849	8,584	722	1,505	9,837	1,751	7,130	0
	平成26年	事業所数	5,064	3	0	440	358	12	139	1,038	54	550	1,593	307	543	27
		従業者数	53,564	14	0	2,022	12,474	174	3,165	8,052	679	1,444	12,723	3,009	8,666	1,142

資料:「向日市統計書」「長岡京市統計書」「大山崎町統計書」

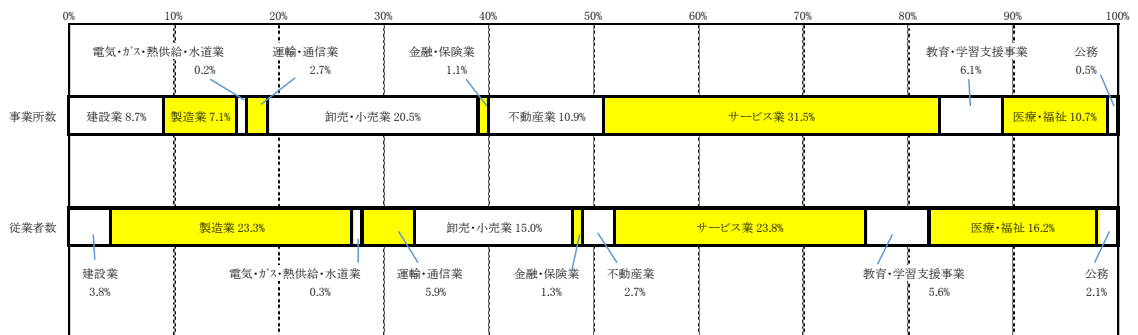


図 1-2-4 産業（大分類）別事業所数及び事業者数の比率 [平成 26 年]

(3) 土地利用

地目別土地利用面積は、宅地が約5割、山林と農地（田・畑）がそれぞれ約2割、雑種地が約1割の構成となっており、近年大きな変化は見られません。

表 1-2-6 地目別土地利用面積

(単位:千㎡)

		総面積	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地
向日市	平成24年	5,326	1,027	538	2,809	0	210	0	742
	平成25年	5,302	969	535	2,860	0	210	0	729
	平成26年	5,309	962	534	2,876	0	210	0	727
長岡京市	平成24年	11,184	1,100	1,479	5,152	1	2,905	4	542
	平成25年	11,217	1,098	1,475	5,195	1	2,905	4	538
	平成26年	11,218	1,081	1,470	5,225	1	2,905	4	532
大山崎町	平成24年	2,732	173	156	1,398	1	779	0	224
	平成25年	2,729	165	154	1,405	1	775	0	230
	平成26年	2,728	161	153	1,410	1	770	0	235
計	平成24年	19,242	2,300	2,173	9,359	2	3,894	4	1,508
	平成25年	19,248	2,232	2,164	9,460	2	3,890	4	1,497
	平成26年	19,255	2,204	2,157	9,511	2	3,885	4	1,494

注) 1 課税の対象にならない土地を除く。

資料:「京都府統計書」

2 端数処理を行っているため、各地目別面積の

(府自治振興課 固定資産に関する概算調査)

和が総面積と一致しない場合がある。

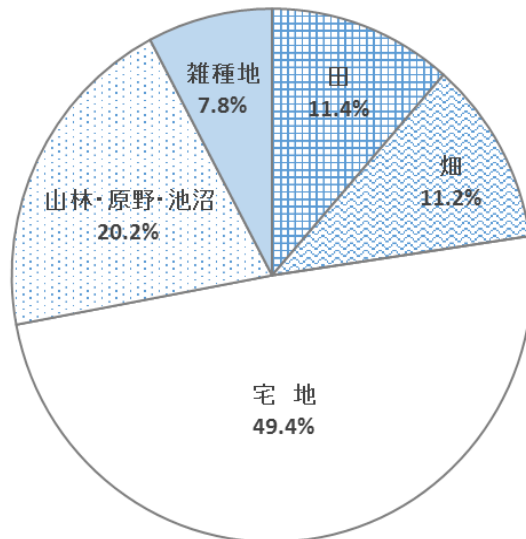


図 1-2-5 地目別土地面積の比率 (全体) [平成 26 年]

(4) 道路・交通

a. 道路

道路は、南北に縦断する国道 171 号をはじめとして、府道・市町道あわせて総延長 402,749mの道路網を形成しています。平成 27 年 4 月 1 日現在の舗装率は、国・府道は 100%、市町道についても向日市 96.7%、長岡京市 97.1%、大山崎町 96.2%とほとんどが舗装済となっています。

表 1-2-7 道路現況

平成27年4月1日

	道路延長 (m)				舗装率 (%)		
	総延長	国道	府道	市町道	国道	府道	市町道
向日市	136,494	2,123	12,670	121,701	100.0	100.0	96.7
長岡京市	210,526	2,510	29,930	178,086	100.0	100.0	97.1
大山崎町	55,729	3,943	6,649	45,137	100.0	100.0	96.2
計	402,749	8,576	49,249	344,924	100.0	100.0	—

資料: 「向日市統計書」「長岡京市統計書」「大山崎町統計書」(平成27年版)

b. 鉄道

鉄道は、JR京都線と阪急電鉄京都線が、南北に縦断して併走し、大阪(梅田)に至っています。各駅の日当たり乗降客数は、JR長岡京駅が約 4 万人(乗客数の 2 倍で算出)で最も多く、次いで阪急電鉄長岡天神駅が約 3 万 6 千人、阪急電鉄東向日駅が約 1 万 7 千人の順となっています。

表 1-2-8 鉄道駅乗降客数

(単位:人/日)

	J R			阪 急 電 鉄									
	向日町	長岡京	山 崎	東向日		西向日		長岡天神		西山天王山		大 山 崎	
	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	降客数	乗客数	降客数	乗客数	降客数	乗客数	降客数	乗客数	降客数
平成22年度	7,741	20,256	5,658	8,542	8,609	5,926	5,836	17,465	17,513	-	-	3,257	3,287
平成23年度	7,763	20,144	5,607	7,726	7,810	6,053	6,000	17,798	17,986	-	-	3,379	3,385
平成24年度	7,797	19,974	5,651	7,980	7,967	6,012	5,908	18,133	18,044	-	-	3,444	3,477
平成25年度	7,971	20,529	5,700	8,212	8,098	6,098	5,923	18,023	18,012	3,265	3,003	3,636	3,606
平成26年度	7,864	20,452	5,612	8,666	8,746	6,175	5,985	18,062	18,106	3,420	3,118	3,517	3,515

注) 年間乗客数(降客数)の1日あたりの平均である。

資料:「長岡京市統計書」(平成27年版)

(5) 都市計画

a. 用途地域

行政区域全体の約 55%が市街化区域(1,800ha)となっており、その3分の2以上が、第1種住居地域を中心とした住居系の用途地域指定になっています。

表 1-2-9 用途地域指定状況 [平成 27 年]

(単位:ha)

	都市計画区域	市街化区域	用 途 地 域												市街化調整区域
			第1種低層住居専用地域	第2種低層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第2種中高層住居専用地域	第1種住居地域	第2種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	
向日市	767	524	124.8	1.4	25.9	-	206.8	10.8	15.4	32.0	4.6	31.7	70.6	-	243
長岡京市	1,917	958	185.0	-	88.0	-	382.0	33.0	18.0	24.0	2.3	43.0	138.0	44.0	959
大山崎町	597	318	17.0	-	59.6	2.6	124.4	3.8	-	-	-	20.6	90.0	-	279
計	3,281	1,800	326.8	1.4	173.5	2.6	713.2	47.6	33.4	56.0	6.9	95.3	298.6	44.0	1,481
比率	100.0%	54.9%	39.6%						1.9%			13.3%			45.1%

資料:「向日市統計書」「長岡京市統計書」「大山崎町統計書」(平成27年版)

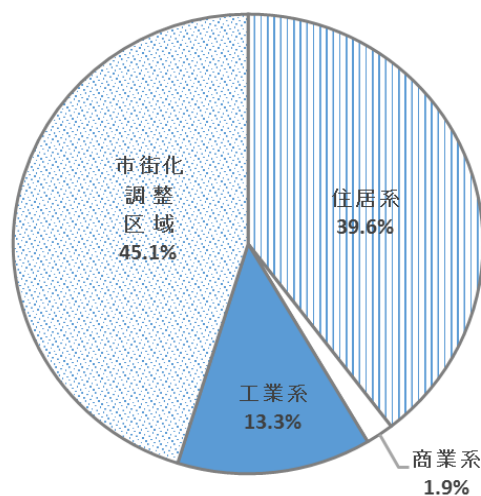


図 1-2-6 用途別面積の比率 (全体) [平成 27 年]

b. 公園の状況

公園は、都市計画公園を含め、向日市 114 ケ所、長岡京市 256 ケ所、大山崎町 52 ケ所の計 422 ケ所となっています。

表 1-2-10 公園の状況〔平成 27 年〕

	合 計		都 市 公 園		そ の 他 の 公 園		1 人 当 たり 公 園 面 積 (㎡)
	園 数	面 積	園 数	面 積	園 数	面 積	
	(ヶ所)	(㎡)	(ヶ所)	(㎡)	(ヶ所)	(㎡)	
向日市	114	71,226	44	60,900	70	10,326	1.3
長岡京市	256	213,598	239	209,487	17	4,111	2.7
大山崎町	52	62,412	22	53,781	30	8,632	4.2
計	422	347,236	305	324,168	117	23,069	—

資料:「乙訓の統計」(平成27年版)

4) 地域環境の現状

(1) 大気環境

計画範囲内の3測定局における一酸化窒素、二酸化窒素及び窒素酸化物(NO、NO₂、NO+NO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)、光化学オキシダント(Ox)の平成26年度の測定結果は、以下のとおりとなっています。

表 1-2-11 (1) 大気汚染常時監視測定結果

○一酸化窒素、二酸化窒素及び窒素酸化物(NO、NO₂、NO+NO₂)

市 町	測定局	一酸化窒素(NO)			二酸化窒素(NO ₂)										窒素酸化物(NO+NO ₂)								
		年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上の日数とその割合		98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	年平均値(NO _x /NO+NO ₂)		
									(時間)	(%)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(日)	(%)						(ppm)	(ppm)
向日市	向陽	0.003	0.091	0.014	364	8,749	0.009	0.043	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.021	0	0.012	0.122	0.034	72.0
大山崎町	大山崎	0.004	0.113	0.017	364	8,676	0.013	0.073	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.027	0	0.017	0.151	0.040	77.3	
	国道171号	0.027	0.167	0.057	365	8,679	0.023	0.065	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	1.1	0.037	0	0.050	0.216	0.093	46.4	

○浮遊粒子状物質(SPM)

市 町	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数
					(時間)	(%)	(日)	(%)				
向日市	向陽	361	8,680	0.016	0	0.0	0	0.0	0.079	0.039	○	0
大山崎町	大山崎	361	8,694	0.020	1	0.0	0	0.0	0.284	0.048	○	0
	国道171号	288	6,944	0.025	0	0.0	0	0.0	0.123	0.047	○	0

資料:「環境白書」(平成27年度版)京都市

表 1-2-11 (2) 大気汚染常時監視測定結果

○光化学オキシダント(Ox)

市 町	測定局	昼間測定 日数	昼間測定 時間	昼間の1 時間値の 年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超え た日数と時間数			昼間の1時間値が0.12ppm以上 の日数と時間数			昼間の1 時間値の 最高値	昼間の日 最高1時 間値の年 平均値
					(日)	時間数とその割合		日数とその割合		(時間)		
						(時間)	(%)	(日)	(%)			
向日市	向陽	365	5,396	0.036	85	488	9.0	2	0.5	5	0.132	0.051
大山崎町	大山崎	365	5,419	0.034	78	440	8.1	3	0.8	4	0.125	0.049

資料：「環境白書」（平成27年度版）京都府

(2) 水 環 境

大山崎町内の環境基準点（4ヶ所）における平成26年度の公共用水域水質測定結果（pH、DO、BOD、COD、SS、大腸菌群数、全窒素、全磷）は、以下のとおりとなっています。

表 1-2-12 公共用水域水質測定結果

(単位:DO・BOD・COD・SS・全窒素・全磷はmg/ℓ、大腸菌群数はMPN/100mℓ)

水域名	河川名	地点名	測定値	平成26年度							
				pH	DO	BOD(75%水質値)	COD(75%水質値)	SS	大腸菌群数	全窒素	全磷
小畑川 下流	小畑川	小畑橋	年平均	-	8.4	0.7	2.9	3	17,000	0.86	0.026
			最大値	8.2	13	1.1	4.2	13	94,000	1.3	0.046
			最小値	6.4	5.4	<0.5	1.8	<1	490	0.35	0.007
桂川 下流(2)	小泉川	新山崎橋	年平均	-	8.4	0.7	2.5	1	22,000	0.97	0.021
			最大値	7.9	10	1.2	3.8	1	70,000	1.2	0.029
			最小値	6.7	6.9	<0.5	1.3	<1	700	0.73	0.010
	七間堀川	桂川 流入前	年平均	-	6.4	2.4	8.1	1	30	7.1	0.95
			最大値	7.3	8.0	3.1	9.1	2	49	9.1	1.3
			最小値	6.4	5.0	1.1	7.6	<1	6.8	5.4	0.75
	桂川	三川 合流前	年平均	-	7.6	0.9	4.0	4	7,900	4.4	0.30
			最大値	7.7	10	1.5	4.9	5	13,000	5.0	0.37
			最小値	6.5	5.7	0.6	3.2	3	790	3.6	0.24

注) 基準値 pH 日間平均値 6.5以上8.5以下
 DO 日間平均値 7.5mg/ℓ以上
 BOD 日間平均値 2mg/ℓ以下
 SS 日間平均値 25mg/ℓ以下
 大腸菌群数 日間平均値 1,000MPN/100mℓ以下

資料：京都府環境部環境管理課

(3) 騒音・振動

道路に面する地域（自動車騒音）測定結果（平成26年度）では、地域内の26測定地点のうち、昼間は3ヶ所、夜間は2ヶ所で環境基準非達成となっています。新幹線については、京都府全体の10ヶ所のうち地域内にある5ヶ所の実態調査地点で、いずれも高い騒音レベルを示しています。

表 1-2-13 道路に面する地域（自動車騒音）測定結果〔平成 26 年度〕

一連番号	道路名	測定地点	測定年月日		車線数	環境基準類型	近接空間特例	測定位置 (m)		等価騒音レベル (dB)					
			開始	終了				車道端からの距離	地上からの高さ	昼間	対環境基準値	対要請限度	夜間	対環境基準値	対要請限度
80	府道西京高槻線	向日市物集女町	H26.12.18	H26.12.19	2	B	有	2.8	1.2	70	○	○	64	○	○
81	府道西京高槻線	向日市寺戸町	H26.12.18	H26.12.19	2	A	有	1.3	1.2	73	×	○	67	×	○
82	府道西京高槻線	向日市上植野町	H26.12.18	H26.12.19	2	B	有	3.4	1.2	67	○	○	63	○	○
83	府道西京高槻線	向日市上植野町	H26.12.18	H26.12.19	4	B	有	4	1.2	64	○	○	57	○	○
84	一般国道171号	長岡京市神足麦生11	H26.11.19	H26.11.20	4	C	無	39	2.6	60	○	○	56	○	○
85	一般国道171号	長岡京市城の里13	H26.11.11	H26.11.12	4	B	有	2	2.2	64	○	○	61	○	○
86	府道大山崎大枝線	長岡京市天神4丁目3-30	H26.11.17	H26.11.18	2	A	有	0	2.5	64	○	○	56	○	○
87	府道大山崎大枝線	長岡京市花山1丁目63	H26.11.11	H26.11.12	2	A	有	0	2.5	71	×	○	64	○	○
88	府道伏見柳谷高槻線	長岡京市馬場見走り17-5	H26.11.17	H26.11.18	2	C	有	0	2.5	70	○	○	64	○	○
89	府道奥海印寺納所線	長岡京市久貝3丁目4-5	H26.11.13	H26.11.14	2	B	有	0	2.5	70	○	○	63	○	○
90	府道西京高槻線	長岡京市神足3丁目4-10	H26.11.10	H26.11.11	2	B	有	1.2	2.5	68	○	○	61	○	○
91	府道中山向日線	長岡京市滝ノ町2丁目6-13	H26.11.13	H26.11.14	2	B	有	0	2.9	71	×	○	66	×	○
92	府道西京高槻線	長岡京市野添1丁目17-29	H26.11.10	H26.11.11	4	B	有	0.2	2.9	69	○	○	63	○	○
93	市道0102線	長岡京市八条が丘2丁目5	H26.11.11	H26.11.12	4	A	有	3	2.7	69	○	○	62	○	○
94	府道奥海印寺納所線	長岡京市高台1丁目1-2	H26.11.17	H26.11.18	2	A	有	0.6	2.9	63	○	○	52	○	○
95	府道奥海印寺納所線	長岡京市調子1丁目23-12	H26.11.10	H26.11.11	2	B	有	1.5	2.5	68	○	○	61	○	○
96	市道2184号線	長岡京市下海印寺下内田	H26.11.6	H26.11.7	2	B	無	31	2.7	65	○	○	57	○	○
97	市道2184号線	長岡京市下海印寺方丸	H26.11.5	H26.11.6	2	B	無	0.3	2.7	61	○	○	53	○	○
98	府道西京高槻線	長岡京市今里	H26.11.19	H26.11.20	4	C	有	5	1.2	66	○	○	60	○	○
99	府道西京高槻線	長岡京市神足3丁目18	H26.11.19	H26.11.20	2	B	有	3.2	1.2	69	○	○	62	○	○
123	府道大山崎大枝線	大山崎町字円明寺小字夏目26	H26.11.11	H26.11.12	2	B	有	10	4	60	○	○	56	○	○
124	名神高速道路	大山崎町字大山崎小字西山田17-27	H26.11.13	H26.11.14	8	A	有	5	1.2	52	○	○	52	○	○
125	名神高速道路	大山崎町字円明寺小字茶屋前29	H26.11.19	H26.11.20	8	B	有	19	1.2	58	○	○	55	○	○
126	名神高速道路	大山崎町字円明寺小字夏目9-5	H26.11.17	H26.11.18	8	B	有	10	1.2	57	○	○	54	○	○
127	名神高速道路	大山崎町字円明寺小字松田58-2	H26.11.26	H26.11.27	8	A	無	72	1.2	54	○	○	52	○	○
128	一般国道171号	大山崎町字大山崎小字鏡田	H26.5.8	H26.5.9	4	C	有	15	1.2	67	○	○	64	○	○

資料：「環境白書」（平成 27 年度版）京都府

表 1-2-14 新幹線鉄道騒音・振動実態調査結果〔平成 26 年度〕

地点番号	測定年月日	測定地点 (線路最寄地点名)	用途地域地域類型	平均列車速度 (km/h)	構造物の種類		軌道の種類	防音壁		騒音レベル				振動レベル			
					種類	構造物の高さ (m)		種類	構造物からの高さ(m)	12.5m		25m		50m		値	指針値
										値	環境基準	値	環境基準	値	環境基準		
										70dB	75dB	70dB	75dB	70dB	75dB		
⑥	26.10.21	向日市森本町東ノ口(上り側)	調整区域 I	240	高架橋(壁式ラーメン)	5.8	バラスト(マット有)	直壁型	2.9	75	×	71	×	65	○	57	○
⑦	26.10.21	向日市森本町佃(下り側)	工業 II	244	高架橋(壁式ラーメン)	5.8	バラスト(マット有)	直壁型	2.0	74	○	75	○	68	○	58	○
⑧	26.10.28	長岡京市神足橋本(下り側)	工業 II	237	高架橋(ラーメン)	9.3	バラスト(マット有)	直壁型	2.0	72	○	71	○	68	○	56	○
⑨	26.10.29	大山崎町大山崎鏡田(上り側)	第1種住居 I	258	高架橋(ラーメン)	8.4	バラスト(マット有)	ラムダ型(張出板有)	3.0	74	×	68	○	64	○	61	○
⑩	26.10.29	大山崎町大山崎茶屋前(下り側)	第1種住居 I	245	高架橋(桁式)	7.7	バラスト(マット有)	ラムダ型	2.2	69	○	68	○	63	○	54	○

※測定地点⑩は、「12.5m地点」は「15m地点」で測定
 環境基準(騒音)・・・ I 70dB
 II 75dB
 指針値(振動)・・・ 70dB

資料：「環境白書」（平成 27 年度版）京都府

(4) 公害苦情件数

平成22～26年度の公害苦情件数は、典型7公害の騒音に関するものが最も多くなっています。典型7公害以外では、長岡京市で不法投棄の苦情件数が目立っています。

表 1-2-15 種類別苦情件数（平成22～26年度）

(単位:件)

受付機関	年度	典 型 7 公 害							左 記 以 外			合 計	
		大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	小計	不法投棄	その他		小計
向日市	22年度	5	3	0	6	0	0	5	19	1	6	7	26
	23年度	2	4	0	4	0	0	4	14	3	0	3	17
	24年度	2	0	0	10	0	0	3	15	2	7	9	24
	25年度	5	0	0	7	0	0	4	16	1	4	5	21
	26年度	2	2	0	3	0	0	2	9	0	2	2	11
長岡京市	22年度	4	3	0	10	0	0	2	19	6	13	19	38
	23年度	5	5	0	4	0	0	11	25	5	17	22	47
	24年度	0	7	0	7	2	0	9	25	2	13	15	40
	25年度	3	8	1	6	2	0	10	30	16	4	20	50
	26年度	13	5	0	17	0	0	11	46	8	0	8	54
大山崎町	22年度	2	3	0	0	0	0	1	6	0	0	0	6
	23年度	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	24年度	1	2	0	1	2	0	5	11	0	0	0	11
	25年度	3	0	0	2	2	0	0	7	0	0	0	7
	26年度	1	1	0	3	0	0	1	6	0	0	0	6
計	22年度	11	9	0	16	0	0	8	44	7	19	26	70
	23年度	9	9	0	8	0	0	15	41	8	17	25	66
	24年度	3	9	0	18	4	0	17	51	4	20	24	75
	25年度	11	8	1	15	4	0	14	53	17	8	25	78
	26年度	16	8	0	23	0	0	14	61	8	2	10	71

資料: 「環境白書」(平成27年度版) 京都府

5) 関連計画

(1) 関連計画

関係市町の将来計画のうち、本計画に関連する計画は以下に示すとおりです。

a. ふるさと向日市創生計画

- 策定時期 平成28年3月
- 計画期間 平成27年度～平成31年度
- 基本方針

- ・歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり
- ・人と暮らしに明るくやさしいまちづくり
- ・信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

b. 新向日市環境基本計画

- 計画時期 平成24年10月
- 計画期間 平成24年度～平成33年度
- 計画の目的

この計画は、向日市と向日市に暮らす市民・事業者等が環境保全に取り組んでいく上での共通の理念や目標、施策の方向を示すとともに、各主体の環境保全に向けた行動を積極的に誘導していく役割を担うことを目的とする。

- 目指すべき環境像

みんなが優しくすむまち - 『う・る・お・い』環境都市 むこう

- 基本目標

目指すべき環境像を実現するため、向日市の今後の環境保全施策を展開するにあたって、

「生活」・「都市」・「自然」・「循環」・「地球環境」・「参画」

をキーワードとして以下に示す6つの基本目標を定める。

- ・生活環境の保全 ～ 公害のない健康に暮らせるまち
- ・都市環境の創造 ～ 緑あふれる美しいまち
- ・人と自然との共生 ～ 自然とふれあえるまち
- ・資源の循環的利用 ～ 環境への負荷が少ない資源循環型のまち
- ・地球環境の保全 ～ 地球の未来を大切にするまち
- ・環境保全への市民参画 ～ 環境保全行動を実践するまち

c. 長岡京市第4次総合計画

- 策定期期 平成28年3月
- 計画期間 平成28年度～平成42年度
- 基本方針

- ・うるおいに満ちた、良質の住み心地をつくる
- ・まちの魅力を高め、多彩なにぎわいをつくる
- ・人・地球の絆に根ざした、ゆるぎない安心をつくる

d. 長岡京市第二期環境基本計画

- 策定期期 平成25年3月
- 計画期間
おおむね2030年を最終的な目標年次とする
- 基本理念

- ・すべての施策・行動を持続可能性に基づいて策定し、総合化します
- ・環境と経済・雇用・生活の質の改善を両立させます
- ・地域に固有の自然と文化を大切に守り、育てます
- ・社会的公正に配慮し、すべての人々と資源と環境を分かち合います
- ・資源・エネルギーが循環する地域をつくります
- ・みんなが参加して、いっしょに計画をつくり、実践します
- ・持続可能な社会を実現するための教育、人づくりに力を注ぎます

e. 大山崎町第4次総合計画

- 策定期間 平成28年3月
- 計画期間 平成28年度～平成37年度
- 基本目標

- ・彩のあるまち
- ・行きたい、住みたい、住み続けたいまち
- ・支え合う、助け合うまち
- ・生涯を通じて、理解し合う、学び合うまち
- ・協働で創るまち

(2) 条例等

a. 乙訓環境衛生組合廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

(平成23年条例第7号)

- 施行 平成24年4月1日 全部改正

b. 向日市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 (平成9年条例第13号)

- 施行 平成9年10月1日 全部改正
- 平成24年4月1日 一部改正

c. 長岡京市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 (平成9年条例第5号)

- 施行 平成9年10月1日 全部改正
- 平成24年4月1日 一部改正

d. 大山崎町廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 (平成9年条例第8号)

- 施行 平成9年10月1日 全部改正
- 平成24年4月1日 一部改正

e. 大山崎町生活環境美化に関する条例 (平成14年条例第1号)

- 施行 平成14年10月1日